

科目名	防災学概論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	Introduction to disaster prevention	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 □ 後期 □ 通年 ■ 集中		
ふりがな	さとう かつえ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	佐藤 克枝	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	自然災害と防災、減災について学ぶ。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1 自然災害が発生するメカニズムや防災の取り組みについて説明できる。 2 防災のための国や地域の施策について説明できる。 3 防災のための取り組みに、進んで参画することができる。				
授業概要	近年、気候変動による大雨などの災害が頻発しています。また、近い将来に南海トラフ等の大地震の発生も危惧されます。災害の発生機序について理解した上で、災害対策を学び、地域において学生として参画できることを考えます。				
授業計画					
第1回	防災学とは (ガイダンス)				
第2回	災害とは				
第3回	災害対策基本法と地域防災計画				
第4回	公的機関や企業等の災害対策				
第5回	近年の災害の特徴と防災の取り組み				
第6回	防災・減災のための対策① (ハード対策)				
第7回	防災・減災のための対策② (ソフト対策)				
第8回	ワーク① (防災対策)				
第9回	自助				
第10回	共助				
第11回	被災者支援				
第12回	ワーク② (自助と共助)				
第13回	大災害の歴史と今後				
第14回	災害復興				
第15回	ワーク③ (リスクコミュニケーション)				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業前にはレジユメの予習をし、分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(2時間程度) 2. 単元毎に、前回講義内容の確認を行います。講義の復習をしっかりと行ってください。(2時間程度)				
履修条件 受講のルール	レジユメは毎回ポータルサイトにアップします。授業までに予習をしてください。講義の際は、前回までのレジユメも見られるようにしておいてください。				
テキスト	授業中に指示します。				

参考文献・資料	防災白書（令和4年版）、立木 茂雄『災害と復興の社会学 増補版』（萌書房）、神沼 克伊『あしたの防災学 地球科学者と考える災害と防災』（青土社）、永田 宏和『新しい防災のきほん事典 保存版』（朝日新聞出版）、信州大学地域防災減災センター編著『教えて！信州からの防災学 備えなければならない大事なこと』（信州毎日新聞社）
成績評価の方法	<p>【試験 40% 受講態度（ワークを含む）60%】</p> <p>上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	火曜日 14:40～16:10・水曜日 14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は公務員として、防災業務にも関わりました。この授業をとおして、国や地方自治体の実際の防災対策や官民連携の実情についても話したいと思います。
学生へのメッセージ	皆さんは、地域防災や災害の際の共助の大きな力です。ワークを通して、対応の在り方を一緒に考えていきましょう。